

## 山田雅英理事長 年頭所感



謹賀  
新年  
2023

令和5年の新年を寿ぎ、謹んでお慶び申し上げます。  
近年の日本の製造業を取り巻くビジネス環境を振り返りますと、21世紀に入り進展したグローバル経済で世界のワンマーケット化が進んだため、世界情勢の影響を顕著に受けるようになったと言えるでしょう。

昨年は米中のデカップリングが取りざたされ、コロナ禍や国際的サプライチェーン機能不全が解消しないままに年が始まり、二月にはロシアによるウクライナ侵攻が勃発し、世界秩序の不安定化と共にエネルギー・資源・食料などの国際的な物価上昇を招いています。加えての中国のゼロコロナ政策で世界の物流は停滞、サプライチェーンの混乱はさらに悪化し、日本はその上に円安に見舞われております。

新年早々マイナス要素ばかりを論う様で恐縮ですが、ピンチはチャンスと言われる様に、この環境の変化を我々は好機の入り口に立っていると前向きに捉えるべきと考えます。

海外工場の国内回帰や高齢化少子化に加え若者の製造現場離れによる人手不足が深刻な国内製造業にとり、生産ラインの自動化は必須です。また頻りに聞こえてくる「デジタルトランスフォーメーション(DX)」「働き方改革」「工程集約」のキーワードの実現は、自動化によって達成されるべきものであります。

日本の最新鋭の自動化技術は世界に誇りうるものであり、かつ世界で求められているものであります。

昨年11月に東京ビッグサイトで開催されたJIMTOFに於いて、出展の生産財メーカー各社は、ただ自動化を推進するだけではなく、製造ラインの智能化を図りカーボンニュートラルも併せて実現しようと研鑽を積んでいる様子が伺えました。このように進化を遂げようとしている生産ラインに対し、我々生産現場に出入りをする機械工具商に求められるものは「まとめ上げるための提案力」で有ると考えます。

今後の機械工具商の有り方としては、生産現場・技術・商材・物流に関する深い知見のみならず、ユーザー様を取り巻く環境や今後の見通しについて、幅広い見識を有することが理想となります。昨年はコロナ禍で思う様に集まれない中、東機工は以上の観点からリモート用機器を駆使しつつ様々なセミナーを開催して参りました。賛助会員各社に講師になって頂く技術・商材の勉強会はもとより、小規模な会社でも出来る「DX」を中心にリモートで学べる勉強会を実施し、今後も続けていく予定です。

また2022年1月から施行された「改正電子帳簿保存法」、2023年10月から施行される「適格請求書等保存法(いわゆるインボイス制度)」などは、これまでの会社のシステムを変えなければ対応できない、かつ避けて通れない課題であります。東機工ではこれらの課題に対応するための活動を進めて参る所存です。世界的に歴史の転換点となる激動期を迎えている本年ですが、東機工は共存共栄の理念の下に、国内製造業のサポーターとして積極的に必要な情報発信し、交流や研鑽の場を提供して参りたいと存じます。

最後に、本年が皆様にとって明るく輝かしい年となることを、衷心よりお祈り申し上げます。

### 1月の主な行事

- 1月11日(水) 東機工新年賀詞交歓会  
18時 浅草ビューホテル
- 1月18日(水) 19日(木) 組合まつり  
10時 東京国際フォーラム

(東機工も出展します)



東京と全国の中小企業組合が大集結!  
中小企業の「技」と「食」を見て、知って、楽しむ  
組合まつり in TOKYO

リアル展示会

2023年

1月18日(水)・19日(木)

10:00~19:00 (19日は17:00まで)

東京国際フォーラム ホールE

オンライン展示会 来場登録不要

2023年

1月11日(水)~2月3日(木)

